



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
 （奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 全数把握対象感染症発生状況（平成 24 年 7 月） NEW
- 奈良県結核患者情報（平成 24 年 7 月） NEW



（調査週）平成 24 年 第 33 週 8 月 13 日（月）～8 月 19 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当たり	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	1.94	→	→～↑	→～↓	→～↑
2	ヘルパンギーナ	0.57	↓	↓	↓	↓
3	水痘	0.29	→～↓	↓	→～↓	↑↑
4	突発性発しん	0.26	→～↓	↑	↓	↓
5	咽頭結膜熱	0.23	→～↓	↓	→～↓	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は62例で、前週報告の48例から増加。上位5疾患は、①感染性胃腸炎、②ヘルパンギーナ＝突発性発しん、④水痘＝流行性耳下腺炎の順で、感染性胃腸炎がヘルパンギーナと入れ替わり、第27週以来の第1位となった。感染性胃腸炎の報告数（33例）は、ほぼ倍増。突発性発しんの報告数（7例）は、やや増加。水痘の報告数（4例）も、やや増加。流行性耳下腺炎の報告数（4例）も、やや増加。ヘルパンギーナの報告数（7例）は、ほぼ半減。郡山HC管内眼科定点から、流行性角結膜炎が1例報告されたが、奈良市HCおよび郡山HC両管内基幹定点からの報告はなかった。

（村井 記）

県中部地区概況 報告数は、80例から55例と減少した。上位5疾患は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症、水痘および突発性発疹・流行性耳下腺炎の順であった。感染性胃腸炎は39例から28例と減少傾向であり、ヘルパンギーナは15例から9例と減少している。基幹定点および眼科定点からの報告はなかった。

(高木 記)

県南部地区概況 報告数(第32週→第33週)は12例→18例と推移。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎(2例→7例)、②水痘(3例→4例)、②ヘルパンギーナ(7例→4例)、④A群溶連菌咽頭炎(0例→1例)、④伝染性紅斑(0例→1例)、④流行性耳下腺炎(0例→1例)であった。

(柳生 記)

【全数把握対象感染症発生状況(平成24年7月)】

平成24年7月に奈良県内の保健所に届出のあった全数把握対象感染症は、以下のとおりです。

7月報告患者数(平成24年8月23日現在)

類型	疾患名/保健所名	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野	計
2類	結核	5	12	14	11	3	1	46
3類	細菌性赤痢						1	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	2			1		1	4
5類	後天性免疫不全症候群	1		1				2
5類	梅毒		1					1
5類	風しん		2	1	2			5

(感染症情報センター 記)



【奈良県結核患者情報】

奈良県感染症情報センターでは結核患者発生動向情報を提供しています。今回は7月の新規届出状況をお知らせします。

表. 結核届出数 (平成24年1月～)

市町村	7月	総計	
北和	奈良市	5	63
	大和郡山市	2	11
	天理市	3	21
	生駒市	3	14
	山添村		
	平群町	3	7
	三郷町		2
	斑鳩町	1	7
	安堵町		1
中和	大和高田市	1	11
	御所市	3	6
	香芝市	4	16
	葛城市	2	6
	上牧町		
	王寺町		3
	広陵町		4
	河合町	1	4
	橿原市	8	29
	桜井市	3	7
	宇陀市	1	4
	川西町	1	1
	三宅町		
	田原本町		7
	曽爾村		
	御杖村		
	高取町		1
	明日香村		1
	南和	吉野町	
大淀町		1	4
下市町		1	1
黒滝村			
天川村			
下北山村			
上北山村			
川上村			1
東吉野村			
五條市		3	5
野迫川村			
十津川村		1	
合計	46	241	

(8月18日現在)

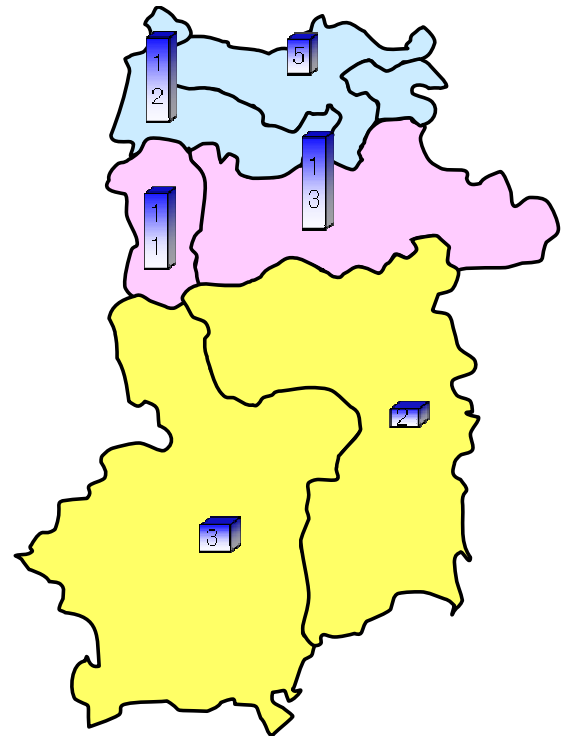


図. 保健所別届出数 (平成24年7月受理分)

(感染症情報センター 記)

これらの内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
 アドレス http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-27874.htm